



文教大学 父母と教職員の会

会報106号

発行 文教大学父母と教職員の会 発行日 平成24年12月25日
〒343-8511 越谷市南荻島3337
越谷 ☎048-974-8811 FAX. 048-977-7791
湘南 ☎0467-53-2111 FAX. 0467-54-5721
ホームページ <http://www.bunkyo.ac.jp/etc/fubokyo/> e-mail fubokyo@stf.bunkyo.ac.jp



サザンビーチ茅ヶ崎

目次

平成24年度	
全国支部長研修会報告…2～4	
学内訪問「どんなところ？」	
越谷校舎 図書館	…5
支部研修会および行事予定	…5
神奈川県・埼玉県支部共催	
「親子のための	
進路問題研修会」報告…6～7	
第28回簗塔祭（湘南）	…8
第45回藍蓼祭（越谷）	…9
都道府県のページ	
（第16回北海道支部）	…10
一都六県支部役員	
合同研修会報告…11	
シリーズ②「学長から」	
「文教大学での35年の	
教員生活で考えたこと」	…12
学生活動紹介	
ワンダーキッズ（越谷）	…13
演劇部（湘南）	…13
支部派遣教職員報告 その⑧	
茨城県支部総会	…14
関西地区懇談会	…14
ゼミ紹介	
情報学部 柳生ゼミ	…15
新運営委員・事務局協力員紹介	…15
文教大学学園校友会発足	…16
文教サービス便り	…16
お知らせ	…16

全国支部長研修会報告

平成24年度全国支部長研修会が11月10日(土)、11日(日)の2日間
にわたり、例年どおり文教大学湘南
キャンパスで開催されました。

本年度も40支部の支部長や代理の
方々に、ご多忙中にもかかわらずご
参集いただき、大変盛況でした。

日程

10日(土)

1. オリエンテーション

13時30分～

2. 分科会

14時15分～

新支部長及び経験支部長研修

3. 全体会

16時30分～

各分科会報告及び質疑応答

11日(日)

4. 教職員による講話

9時30分～

メインテーマ

「文教大学はどう見られているか」

(1) 企業等からみた文教大学

越谷キャリア支援課 石田知子

湘南キャリア支援課 伊藤整二

(2) 大学広報の立場から

広報マーケティング室 小林真詩

一日目(10日(土))

「分科会・全体会」

本年度の分科会は、新支部長と経



高橋会長ご挨拶

験支部長それぞれが左記のA～Dの
4つのグループに分かれ、研修が行
われました。

グループA「新支部長」

北海道・宮城・山形・茨城

栃木・群馬・埼玉・千葉・東京

神奈川・富山・福井・山梨

グループB「新支部長」

長野・岐阜・静岡・「兵庫・大

阪・奈良」・鳥根・岡山・広島

山口・高知・佐賀・熊本・宮崎

鹿児島

グループC「経験支部長」

青森・福島中・福島浜

福島会津・新潟・三重・和歌山

グループD「経験支部長」

徳島・香川・愛媛・福岡・長崎

大分・沖縄

新支部長は支部運営マニュアルに
沿った研修、経験支部長は地域ごと
の課題・問題点に関する研修を中心
に、支部・総会の運営、支部規約の
見直し、新規に予算化された支部活
動・特別活動援助金の活用等、幅広
い内容を含みながら、2時間以上に
わたっての意見交換や活発な討論が
繰り広げられました。



分科会研修の様子

その後、全体会を行い、各グルー
プの代表が分科会の議論の概要を全
員に報告しました。

分科会での意見抜粋

支部規約の改定について

・父母と教職員の会の規約に加え、
各支部の実態に基づいた支部規約
を作るようになっていく。最近、
支部規約の内容が実態にそぐわな
いケースも出てきているので、見
直しが必要。
・支部規約の雛形、及び改正の手順
等は事務局に相談して欲しい。

父母と教 支部長 報

・代議員会、一日大学、支部長研修会、支部総会、支部研修会等の旅費等についても支部で規約化しておくこと引き継ぎが簡素化する。

・総会資料には支部規約を付する。

支部運営について

・出納帳は必ず作り、監査を経ること。人数が少ない場合など、事務局に相談して欲しい。

・役員交代と予算執行の時期が合わないのが悩み。

・支部交付金は年1回6月に交付。

・会費納入会員の人数により交付。

・また、6月以降の納入の増減により翌年1月に2回目を交付。

・支部総会は代議員会終了後、10月中旬までに開催する。

・支部総会では父母教会費を受

け取らない。(振込手続のこと)

・1年生の会報送付、個別相談については会費納入会員と未納入会員の区別をつけないようにしているが、慶弔見舞金、会員子女援助金等は会費納入会員のみ対象である。

・支部研修会等には卒業生や学生を招くことも可能。

・支部研修会等を地域に広く開いていくことで、文教大学の認知度を上げていくこともできる。

派遣教職員について

・派遣人数は各キャンパスから1名ずつ。個別相談参加者の人数が多い場合は増員することも可能。近隣の県どうしで合同支部総会にすることもある。

・人選、人数、時期、講話の内容等の希望は事務局に連絡を。

・教職員への土産、謝礼等は不要。

・大学から送付される成績表を持参いただく面談も充実する。

支部活動・特別活動援助金について

・上限20万円。総額100万円を予定。

・総会等の旅費、会場費等について事務局に相談して欲しい。



支部長さんから分科会報告

・支部会報、支部研修会等については積極的に申請して欲しい。

本部保管の分科会の詳細な議事録は、支部長の皆さま方の体験や考察が凝集された得難い資料です。今後の活動の指針として活かしていきたいと思っています。

「懇親会」

研修会第一日目終了後、17時30分より、学生食堂2階において、懇親会が開催されました。安岡藍夢会会長をはじめ、渡辺理事長、石田学

園長、大橋学長他、大勢の教職員の方々にもご出席をいただき、帰りのバス時間ぎりぎりの19時頃まで懇親会が続き、盛会のうちに終了いたしました。

二日目(11日@)

「教職員による講話」

今年度は、企業などの就職先、受験生などの世間一般の方々が、文教大学をどうとらえているのか、また、文教大学としてはどのような広報活動をしているか等について、3人の職員の方々に講話をいただきました。メインテーマは「文教大学はどう見られているか」各講話の概要は左記のとおりです。

(1) 企業等からみた文教大学

越谷キャリア支援課

課長 石田 知子

○企業人事担当者の声

・会社訪問では、文教大Ⅱ教員養成というイメージが強い。

・情報交換会では、優秀・堅実。人への支援を自然にできる等。

○職場の卒業生の声

(一流企業) 周りが一流大学卒ばかり

り。大学名を聞いたことがない。
 どうしてそんな無名の大学から入
 れたのかと聞かれる。

(中堅企業) 堅実で良いと評判。

(教育委員会) 「文教は教育委員会
 の宝」「教員養成は日本一」と言
 われる。文教大学を歓迎。(教職
 採用率97%)

○企業は学生の基礎学力、我慢強さ、
 人間関係力をみる。

○文教大生の弱点は、やればできる
 のに、失敗を恐れて変化や刺激を
 求めない。自信がない。

○まとめ

- ・専門性や独自性、創造性を発揮し
 て働くことが求められる。
- ・学生時代、一生懸命やってきたこ
 とが、卒業後に生きている。
- ・企業の大黒柱は、卒業後に多くの
 実績を上げてきた学生達。

湘南キャリア支援課

課長 伊藤 整二

湘南校舎「学内合同企業セミナー」
 参加者アンケートより (抜粋)

【良い点】

- ・真面目で一生懸命、素直な印象。
- ・前向きで明るい。親しみがある。

- ・熱心に話を聞き、質問も具体的。
 真剣さが伝わってきた。

・他校に比べ、積極的。方向性が感
 じられる。

・礼儀正しく元気に挨拶が出来る。

・基本的なマナーが出来ている学生
 達が多く、事前準備も出来ていた。
 ・皆がスーツで参加している。

・業界研究から弊社のHPまで目を
 通している学生もあり、話が弾ん
 だ。

【悪い点】

・もう少し元気(パワー)を表現で
 きると良い。

・ガッツが見えない。この会社に入
 りたいという強い意志、飢餓感が
 ない。

・就職に対し危機感はあるが、意欲
 を感じる子は少なかった。

・女子に対して男子の元気がなかつ
 た。

・業界、職種への理解度がなく、何
 をしたいのかよくわかっていない
 ようだった。

【まとめ】

- ・企業からはリアルなコミュニケー
 ション能力が要求されている。
- ・湘南校舎では企業人事採用担当者

を迎えて様々な行事を企画し、就
 職支援をしている。

(2) 大学広報の立場から

広報マーケティング室

課長 小林 真詩

○社会一般の見方

(各種ビジネス専門誌より)

- ・週刊ダイヤモンド9/29号「全国
 560大、真の実力ランキング」(教
 育力、就職力、学生獲得力) 486位
- ・週刊東洋経済10/27号「本当に強
 い大学 日本の大学トップ300」就職
 率文系ベスト100、教育学部69位

・PRESIDENT 10/15号「わが子
 を絶対ニートにしない進学コース
 20」教員就職率が国立大平均を上
 回る72%の大学として、教育学部
 が取材

が取材

○高校生(受験生)の見方

(リクルート大学ブランド調査)

- ・文教大学の知名度44%、志願度17
 % (教育学部は63%)
- ・志願度ランキング 女子20位
 文系16位 (関東エリア)

○広報マーケティング室の活動

・テレビCMとシネアド、ラジオ、
 広告等多岐にわたる広報

○「大学選びの基準が変わる。」を
 キャッチコピーとして、すでに大
 学が持っている人的資産を含めた
 ものの広報により他大学との差別
 化を行う。

どの講話も大変興味深く、子ども
 たちの通う大学について外から見
 る良い機会になりました。講師の先生
 方に感謝です。

この後、閉会の挨拶、事務連絡の
 後解散となり、2日間の研修会は無
 事終了しました。



講演に熱心に聴き入る皆さま方

学内訪問 ～どんなところ？～

「学習支援の基地として」

越谷校舎 図書館課

課長 浜田 賢一

ご父母のみなさまは、大学図書館についてどのようなイメージをお持ちでしょうか。古い図書や雑誌がたくさんあって、ぼつりぼつりと学生さんが勉強している。おしゃべりしていると職員に静かにするよう注意されるところ…でしょうか。

いまの大学図書館は、少なくとも越谷図書館は、そのような場所ではありません。もちろん古い資料もたくさんあり、ひとり静かに勉強するための「静粛スペース」もあります。しかし、それだけではない、もっと多様な学習要求にこたえることがいまの大学図書館の役割です。

越谷図書館では毎年約8千冊の図書を購入しています。電子図書、電子ジャーナル、オンラインデータベースは学内どこからでも（一部は学外からも）利用できます。

各種のガイダンスや個別の資料相談により、文献の探し方からレポート論文の書き方までレクチャーします。開館時間の延長や日曜、年末年

始の臨時開館も実施しています。館内のPCルームやグループ読書室はたいへんよく利用されています。

いま、大学の授業が変わり、今の学生は昔の学生よりもっと勉強する必要があるしてきました。図書館も、一握りの勉強熱心な学生だけでなく、「すべての学生」に対して学習支援サービスを行っています。

図書館のもうひとつの活動として社会貢献があります。地域文庫「あいのみ文庫」は今年開設30周年を迎えました。機関リポトリによる情報発信も行っています。卒業生だけでなく学外の方も図書館を利用できます。ご父母のみなさまも越谷校舎においでの際はぜひ図書館にお立ち寄りください。



あいのみ文庫・児童室

平成25年1月～4月
行事予定

1・10	授業再開(越谷)
1・9	授業再開(湘南)
1・19～20	大学入試センター試験(越谷)
1・28	秋学期授業終了(越谷)
1・28	秋学期授業終了(湘南)
1・29～2・4	秋学期定期試験(越谷)
1・29～2・4	秋学期定期試験(湘南)
2・1	地区入試(越谷)
2・1	地区入試(湘南)
2・1	A日程一般入学試験(越谷)
2・7～10	A日程一般入学試験(湘南)
2・7～9	4年生成績発表(越谷)
2・19	4年生成績発表(湘南)
2・21	4年生成績発表(湘南)
2・26	A日程入試2期(湘南)
3・6	B日程一般入学試験(越谷)
3・6	B日程一般入学試験(湘南)
3・8	1～3年生成績発表(湘南)
3・9	卒業生発表(湘南・越谷)
3・16	卒業式(越谷)
3・19	人間科学部 11時～11時半 文学部 12時半～13時 教育学部 14時～14時半 卒業式(湘南)
3・30	情報学部・国際学部 12時半～ 1～3年生成績発表(越谷)

平成24年度 都道府県支部研修会 開催一覧

支部名	開催日	会場
宮城県支部	12/9(日)	仙台市情報・産業プラザ
福島中通り支部	H25. 2/17(日)	市民プラザ「ビッグアイ」
福島会津支部	H25. 1/12(土)	渋川問屋
栃木県支部	H25. 2/24(日)	ホテルニューイタヤ
埼玉県支部	9/30(日)	埼玉会館
〃	12/2(日)	文教大学 越谷校舎
千葉県支部	11/25(日)	ホテルプラザ菜の花
東京都支部	H25. 2/16(土)	文教大学学園 旗の台校舎
神奈川県支部	12/1(土)	文教大学 湘南校舎
新潟県支部	10/14(日)	アトリウム長岡
一都六県支部役員合同研修会	10/13(土)～14(日)	文教大学学園 八ヶ岳寮

3・30～4・5 在学生・新入生オリエンテーション、健康診断(越谷)

4・1～11 在学生・新入生オリエンテーション、健康診断(湘南)

4・4 入学式

4・6 春学期授業開始(越谷)

4・12 春学期授業開始(湘南)

※この一覧は予定ですので、変更になる可能性があります。ご了承ください。

神奈川県・埼玉県支部共催

「親と子のための

進路問題研修会」

湘南キャンパス（12月1日（土）

神奈川県支部長 小嶋 均

今年度の進路問題研修会は150名を超える参加者があり、年々、増加傾向にあります。やはり、進路問題の厳しさが表れているのでしょう。

昨年に引き続き、大橋学長には、湘南・越谷両キャンパスにご出席いただき、ご挨拶をいただきました。

1. 湘南キャンパス在学生の進路・就職状況

湘南キャンパスキャリア支援課課長伊藤整二氏より「24年3月卒業生の就職率」、「現4年生の就職内定率」、「4年生の動向」、「保護者の皆様へ」についてお話をいただきました。

年々、内定率は増加傾向にあるが、リーマンショック以前には戻っておらず、また、「内定をもらえる学生」と「内定をもらえない学生」の二極化が進んでいるとのことでした。

本人の準備も大事ですが、親御さんの金銭面と精神的な支えが大事とのことでした。

2. 特別講演

昨年と同様、(株)ベイジメーカー代表取締役 高島博志氏より「最新の就職事情」を伺いました。

まずは、選考内容の多様化と長期化が進んでいるとの事で、選考会の回数増（某TV局は七次）、グループによる討論で学生の問題に対するプロセスを見極めようとしているそうです。

次に企業の求人意欲は回復基調であるが、大手企業への集中化は変わらず、希望企業の6割は学生の希望企業、4割は希望企業がすべてダメであった時に希望する企業を選択すべきで、4割の中で先に内定を一つでも貰える事が学生本人の自信にもつながるとの事でした。

後は、就職は本人の営業活動で、自分をどう売り込むかに力を入れるべきとの事で、一番良い方法が手紙だそうです。説明会や選考会後に人事宛に手紙を書き、その会社に入りたい熱意を込める事と、選考会等で会社に訪問した瞬間から「この企業にどうしても入りたい」ということが重要で、まずは熱意が一番だと思います。



湘南キャンパス研修会の様子

3. 内定者・卒業生の体験発表

今年も内定者2名と卒業生1名の発表があったのですが、一つサプライズがあり、卒業生のお母さまから進路問題研修会に参加している親御さんにお手紙をいただきました。役員が代読させて頂いたのですが、進路が決まるまでの過程と、その気持ち素直に伝わり、代読後、目に涙を浮かべている親御さんも居られました。

就職を希望される学生が一名でも多く、内定が貰えることを切に祈ります。

H24年度「親と子のための進路問題研修会」支部別・学部別の参加状況(実数) ◇湘南キャンパス◇

	情 報 学 部				国 際 学 部				健 康 学 部				合 計				面談件数	
	学 生	保護者	学 生	保護者	学 生	保護者	学 生	保護者	学 生	保護者	学 生	保護者						
開 催 年 度	H23	H24	H23	H24	H23	H24	H23	H24	H23	H24	H23	H24	H23	H24	H23	H24	H23	H24
神 奈 川 県	18	11	38	40	7	4	17	11	4	2	6	25	19	57	57	12	15	
埼 玉 県	4	2	5	1			2	2			1	4	2	7	4	1	1	
北 海 道			1											1				
青 森 県																		
秋 田 県			1											1		1		
岩 手 県							1							1				
東 京 都			1		1		5				1	1		6	1		1	
千 葉 県				4										1	5	1	2	
山 形 県	1		1									1	1		1			
宮 城 県																		
群 馬 県	1	3	3	4	1		3	2	1	1	3	1	3	4	9	7	1	3
新 潟 県		1	3	1									1	3	1	1		
福 島 県		1	1	2	1		3					1	1	4	2	1		
栃 木 県	1		3	2					1		1	1	2	4	3	2	1	
茨 城 県		2		4										2	1	4		1
長 野 県			1	3										2	1	3	1	1
山 梨 県		2		2										2	2			
静 岡 県	2	1	4	1	1	1	2	2			2	3	2	6	5	1	1	
富 山 県				1											1			
合 計	27	23	63	65	11	5	33	17	2	5	6	13	40	33	102	95	23	26
神奈川県役員															15	12	1	3
埼玉県役員															8	5	1	1
講師等職員事務局															18	16		
合 計													40	33	143	128	25	30
親 合 計															183	161		

平成24年度
支部別、学部別の
参加状況(実数)

湘南キャンパス



越谷キャンパス（12月2日⑧）

「有意義な進路問題研修会」

埼玉県支部長 吉澤 勝宣

ここ最近の景気低迷で大学生の就職活動が厳しさを増す中、保護者向けに説明会を開く大学が増えているようです。就活を終えた3年生だけでなく、1、2年生の親を対象にした大学も登場。

文教大学は30数年前より「父母と教職員の間」を立ち上げ学生の進路に深く携わって参りました。

そういった意味から「親と子のための進路問題研修会」は、その先端的取り組みと思えます。

本年も149名の参加者（保護者・学生）が集い、沢山の質疑応答があり有意義な研修会となりました。

1.「就職・進路状況について」

越谷校舎キャリア支援課

課長 石田 知子

進路・就職状況（中間報告）をはじめ、教員・公務員・一般企業への対策についてお話しがありました。

また、文教大学はどう見られているかなど、企業人事担当者・卒業生

の職場・教育委員会・市役所・父母の皆様等、さまざまな視点からの声があるとユニークな報告もありました。本学キャリア支援課の「最後の一人まで」という目標には力強い意気込みを感じました。

2.「最近の面接の傾向と対策」

株式会社学情 学校企画部

主任 片 晃彦

採用者側の選択の基準・視点など学生が心得なければならぬポイントをユーモアを交えわかりやすく講



越谷キャンパス研修会の様子

演頂きました。

3. 職種別講演会

一般企業、公務員、教員と別会場に分かれ、キャリア支援課の石田課長、青島係長、徳久係長の3名から採用のための具体的なお話がありました。

4. 体験発表

本学学生の市川歩実さん（埼玉県小学校）、藤本朋子さん（全日本空輸（株）CA）、山崎有紀さん（福島県庁行政職）の内定を勝ち取るまでの努力・工夫など貴重な体験発表がありました。

就職活動は早くから目標を決め具体的な準備が重要と感じました。

5. 個別相談

就職については、キャリア支援課から石田課長、内藤副参事、青島係長、徳久係長の4名の方々、学生生活の相談は文学部・阿川修三先生、学業については教育支援課課長補佐の毛利健氏にご協力をいただきました。

平成24年度
支部別、学部別の
参加状況(実数)

越谷キャンパス

参加者数													
区分人数		埼玉県・神奈川県		他支部		教職員・講師・学生・社会人		支部役員		合計			
		67人		61人		11人		19人		158人			
支部・学部別参加者数													
(単位:人)													
支部		教育学部		人間科学部		文学部		湘南校舎		合計			
		学生	保護者	学生	保護者	学生	保護者	学生	保護者	学生	保護者	合計	
埼玉	県	2	20	0	25	2	33	0	3	4	81	85	
神奈川	県				2					0	2	2	
青森	県			1	1	1	1			2	2	4	
秋田	県						1			0	1	1	
茨城	県	2	2		1					2	3	5	
栃木	県				3		7			0	10	10	
群馬	県	1	4		2	1	3			2	9	11	
千葉	県		3		4	1	2			1	9	10	
東京都			5	1	3	1	1			2	9	11	
新潟	県				1	1	2			1	3	4	
長野	県				1					0	1	1	
山梨	県	1	2							1	2	3	
徳島	県			1	1					1	1	2	
合計		6	36	3	44	7	50	0	3	16	133	149	
職種別講演会参加者数													
(単位:人)													
教員		一般企業		公務員		合計		個別相談参加組数					
人数	50人	24人		112人				組数	学生生活	就職	学業	教員	合計
								1組	19組	5組	13組	29組	

第28回 聳塔祭「It's 聳 time!」

— 湘南キャンパス — 11/26 (金) ~ 28 (日)



どら焼き販売の神奈川県支部のみなさん



正門看板 — 聳塔祭へようこそ —



ダンス部 BUZZ のみなさん



大観衆の前には……



男女ソフトボール部の焼うどん



国際理解学科 生田ゼミナールの教室展示

第28回聳塔祭が10月26日から3日間、盛大に開催されました。
今年も多彩なゲストが学園祭を大いに盛り上げてくれました。
タレントトークショー（声優）
三ツ矢雄二（タッチ・上杉達也）
日高のり子（タッチ・浅倉南）
コンサート（体育館大アリーナ）
ME&ERの皆さん
お笑いライブ
インスタントジョンソン
エスパ・伊東
内庭に設けられたイベントステージでは、元氣いっぱい歌やダンスが、たくさんの方の来場者を楽しませてくれました。
また、笑顔あふれる学生の屋台の中で、父母と教職員の会神奈川支部が気合を入れて作った焼印入りのどら焼きは、見事200個を完売いたしました。
校舎内での教室展示は、それぞれ趣向がこらされ、学生の皆さんの熱意が感じられました。恒例化しつつある教職員による小さな音楽会では、父母教事務局長の奏でるリコーダーの調べが、胸に響きました。
みなさんは自分のショータイムを見つけることができましたか？

第45回 藍 蓼 祭「LINK」

越谷キャンパス

11/2 (金)～4 (日)



一度入ったら二度と出てこれないかも…!?



みんな可愛くて♡ 何を買おうか迷います



目指すは将来の「イクメン」ガンバレ!!



毎年恒例の野外ステージ……ジャン!!



優雅にティータイムを楽しみます



美術専修の展示風景……力作ぞろいです

すように…。

レベルの高い演奏あり、楽しい演出のダンスあり：で日頃の練習の成果を観ることができました。模擬店では慣れない調理をしながら頑張っている姿がありました。東日本大震災以降、人と人との絆をより一層大切にする思いが広がっています。今後もその思いが繋がっていきま

盛り上がりました。

メインアリーナでは、テレビで活躍している「ベッキート#」を迎え、体育館はさいたまスーパーアリーナ?のように

華賞品をGETしたのか?

『リンク それは繋がりのこと、人と人との繋がり、絆がいま大切なのです。』のメッセージを掲げ、学生だけではなく、保護者や越谷の近隣の方々、高校生など藍蓼祭に会場された方々との関わりの中でそれぞれの「今」、その「瞬間」が繋がる学園祭にしようという思いが溢れていました。野外ステージではビング大会やバンドのパフォーマンスが行われました。スタンプリーではどなたが豪華賞品をGETしたのか?

越谷キャンパスでは、11月2日(金)～4日(日)まで第45回藍蓼祭が開催されました。今年のテーマは「LINK」。



都道府県支部のページ

第16回 北海道支部の巻

広い大地より…

北海道支部長 三國 一文



北海道支部は皆さんもご存知のよう到大変広く、日本一の面積を誇っています。具体的に言いますと、東北6県の8支部がスッポリと入ってしまう大陸的な広さです。私は仕事柄、北は稚内、東は根室、南は札幌までと年中駆け巡っていますが、年間の走行距離は平均して4万キロほどになります。4万キロと言う数字はちょうど地球一周の距離に該当し、毎年走っている本人も驚きです。

温暖化とは言え、北海道の冬場は地域によってガラツと様子が違います。雪が降り積もる地域。雪は少なくとも凍れる地域。横殴りの風雪がひどい地域など様々です。4〜5カ月は運転には細心の注意を払っての仕事になります。このような地で支部長として承認されたのは昨年の秋でした。春の個人懇談会で萩原先生に支部長不在の北海道の現状を聞き、支部長要請に応えるかたちで承諾しました。支部が無いよりはあったほう

が、大学と父母の距離が近くて良いだろう！ぐらいの気持ちで引き受けました。しかし、時間が経って冷静に考えた時に、支部としての取り組みは具体的に何をするのか？ちよつと悩み始めました。そんな時に支部長代理として代議員会に参加させていただく機会に恵まれ、他の支部長さんと交流することが出来ました。

た。代議員会後には不安を一掃するために、どんな取り組みをしているのか？など支部長さんに聞いてまわりました。支部により温度差はありましたが、まずは総会や懇談会の設定、内容についての工夫など熱心に語ってもらえました。



県花：ハナマス

秋に開催した総会（全体、個人懇談会を含む）でした。一番苦労したのは、支部のエリアが広いうえに会員が点在していることでした。どこで総会を開催するのがベストなのか？会員数が多い札幌のみで開催すると道東、道南からの会員の移動が大変。結局は会員が在住している地域を確認し、より多くの会員が参加してくれるだろうと思われる札幌と帯広の2ヵ所開催で参加者を募ることに決めました。

昨年度の総会は各開催地で10

名弱の参加人数（学生数は50名）でしたが、支部長の承認と役員が決定するなどようやく支部の体制が出来上がりホッとしたことを憶えています。今年度は8月の札幌での総会で、初めて規約についての話し合いを持ちました。北海道支部の規約が出来ていませんでしたので、父母と教職員の会や各支部の規約を見ながら支部としての規約を作り提案させていただきました。実際に見てもらい意見を伺った際には、提案資料を作成している時には気付かなかった点など色々意見が出され考えさせられました。北海道支部の規約については、後日修正して会員に

郵送し今年度は一件落着きました。ただ、秋の支部長研修会の際にも、予算執行に関わる件で規約について活発な議論がなされています（新人支部長グループ）。北海道支部としてもより積極的に支部に見合った内容をこれから規約に盛り込んでいきたいと考えています。と同時に広大な地に現在42名の会員数ですが、他支部の活動内容を参考にしながら、会報まで発行出来るかどうか分かりませんがより前向きな取り組みにしていきたいと考えています。

会員同士は『一期一会』ですので、その出会いと共有する時間を大切にしたいと考えています。また、文教大学父母と教職員の会の取り組みについては他の大学とは違う『温かみ』を強く感じています。娘が北海道から離れることを心配していた当初の気持ちに嘘のように晴れて、大学と父母の親近感から今では自信を持って文教大学と父母と教職員の会を積極的に紹介したいと思っています。

後発の北海道支部ですが、大学や父母教の思いを具現化出来るように、常に前向きな一歩を踏み出す活動をして行きたいと考えています。

24年度

一都六県支部役員合同研修会報告

「大人の修学旅行」

千葉県支部長 齋藤 浩二

毎年秋に関東地区一都六県では、支部役員を対象とした合同研修会を開催しています。今年も昨年に引き続き、学校法人文教大学学園八ヶ岳寮で10月13・14両日に開催しました。例年11月に開催してきましたが、11月には全国支部長研修会や支部研修会が重なるため、今年は10月に開催する計画を立てました。

6月の代議員会後の懇親会にて、事務局や他支部へ打診し快諾を頂きました。日程が決定したので、次は研修会の内容とそれに続く交流会でのレクリエーション、それと翌日の予定決めです。これらのイベントについては、広く千葉県支部役員よりアイデアを募った結果、先生を多く輩出している文教大学ならではのと思われるフォークダンスとフルーツバスケットに決まり、二日目の予定もお昼に蕎麦打ち体験実習を行うことになりました。予定が決まりましたので、それに伴う担当者を割り振り、開催当日まで毎日メールを駆使し

ながら、打ち合わせや準備を行いました。

研修会開催当日、大学・事務局より3名、東京都支部より4名、埼玉県支部より10名、神奈川県支部より4名、群馬県支部より1名、千葉県支部より13名の総勢35名が、バス・車・オートバイで一路八ヶ岳寮へ向かいました。八ヶ岳寮へ向かうバスの中では、夕食の席次を決める熱き戦い「センターを狙え」を開始しました。ビンゴ、その後に行われたじゃんけん大会の勝者が、めでたく夕食時に中央の席を確保し、副賞として乾杯の挨拶をプレゼントされました。八ヶ岳寮へ到着後は、受付・部屋割りを済ませ研修会を待ちます。今回の研修会は教育学部の栗加先生を迎え「文教大学自慢話」をテーマに、子供達が通っている文教大学についてもっと知りたい、といった気持ちを日頃抱いている保護者に対して、普段見聞きすることの出来ない学生たちの活動・感動秘話等のお話を約1時間半にわたり拝聴いたしました。

頂いた講話の中から、文教大学生の自慢できる部分（素直さ）や、物足りない部分（可能性を有限にして

いる）を伺うことが出来、今後学生達の成長に必要な方向性が多少なりともわかった気がしました。

研修会の後は入浴を挟んで夕食となります。寮の夕食は大変素晴らしい、味や量ともに大満足でした。約1時間の夕食・歓談の後に本日の第二のイベントであるレクリエーションの開始です。

初めにフルーツバスケット。皆さん結構本気モードで、熱いバトルを繰り広げました。次にフォークダンス。ほとんどの人が小・中学校卒業以来数十年ぶりに踊ったにも関わらず、曲を聴くと体が反応して踊れてしまう：目を閉じれば若かりし子供の時の淡い情景が思い出され、日本の小・中学校教育の素晴らしさに感心いたしました。楽しいレクリエーションの後は、表題にもある大人の修学旅行が本領発揮。お酒を嗜みながら深夜まで大学教職員の方や各支部の人たちとの親睦をより一層深めました。

一夜明けた翌日。朝食を済ませ全員で記念撮影を行い、八ヶ岳寮で解散となりました。バス利用者は解散後清泉寮へ向かい、年に一度の収穫

祭で大地に触れ、国立天文台野辺山で宇宙を感じた後、空腹を満たすために小淵沢へ向かいました。

ここで全員が初めてそば打ちを体験し、見た目はともかく自画自賛出来る味わいのお蕎麦を堪能することができました。その後帰路についたバスは、装いも新たにライトアップされた東京駅に無事到着。楽しく有意義であった研修会の幕が閉じました。

最後に、ご多忙の中、電車で八ヶ岳寮へいらして頂いた栗加先生、また多大なるご協力を頂きました事務局・各支部の皆様、誌面を持ちましてお礼の言葉に代えさせて頂きます。



栗加先生(右端)を囲んで、そば打ち体験後の食事風景

新シリーズ②

文教大学での35年の教員生活で考えたこと

理科離れ

文教大学学長 大橋 ゆか子



連載の2回目は「理科離れ」について触れたいと思います。私は教育

学部で教員として、「先生になる」ことを目標に入學してくる学生達の思いを実現させるために、専門の理科領域で工夫した授業をしてきました。学校教育課程の250人位の学生に、理科の実験を体験させ、実験指導やデータ解釈の方法などの授業を行っていました。理科が苦手の教員が多い小学校で、卒業生が、子ども達に理科の楽しさを伝えるとともに、職場の理科教育、特に実験指導のリーダーになってほしいと願っています。高校まで理科嫌いだった学生が、「理科って面白いものだったのですね」と言ってくれれば、苦労が吹き飛びます。

このような努力をして来た教員として、日本の子どもは理科が嫌いだ、教える先生に問題があるのだ、という報道を聞くのは辛いものです。以前、ゼ

ミの学生が卒業研究で「理科離れ」という言葉を調べました。データベースで見つけた一番古い新聞記事は「工学部の卒業生が証券会社に就職している。学生の理科離れが心配だ」という大学教授の談話（1989年）でした。この年に、小学校1、2年生の理科が生活科に変わり、1996年から学校週5日制が始まり、2002年から総合

的学習の時間が配置され、理科の授業時間が以前に比べて大幅に減り、この頃から「理科離れ」に関する新聞記事が急増しました。産業界や理工系大学関係者から、これでは日本の将来が危ないという声が上がります。国も理科支援事業に対する補助金を増額しています。

一方、この頃に様々な教育調査が始まりました。国際規模では、国際教育到達度評価学会の理科・数学に関するTIMSS調査（1995年）とOECDの学習到達度調査（PISA）（2000年）があり、各国の順位が話題になりました。日本は、TIMSSの理科が小学4年で2位、中学2年で3位であり、PISAは数学1位、

理科2位でした。その後、PISAは3年ごと、TIMSSは4年ごとに調査が行われ、その度に順位の変動が話題になります。国内の調査は、文科省

の教育課程実施状況調査が2003年から、全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）が2007年から毎年実施されています。8月9日の朝刊に、小学6年と中学3年対象の全国学力テストの結果が大きく報道されました。国語と算数・数学に加えて、今回初めて理科も加わりました。

これら調査は、教科に対する興味や、生活との関連などの問いが含まれます。今年の学力テストでは、「理科の勉強は好きか」は小学生82%、中学生62%で、どちらも国語（小63、中58）、算数（小65）・数学（中53）より高くなっています。「授業の内容はよく分かるか」は、小学校理科は86%であり3教科で一番高いのに、中学理科では69%で国語72%、数学66%と同程度になります。

一方、「授業で学習したことは将来役に立つ」は、小学校では3教科とも70から80%ですが、中学になると理科は53%で、国語と数学の約90%に比べて急に低くなります。この傾向はどの調査でも共通に見られます。小学校で

子ども達は理科が好きで、内容もよく分かり、役に立つと思っているのに、中学になって急に役に立つと思えなくなる訳です。

この結果は、小学校の理科教育は体験的で子どもに歓迎されているが、中学になり理科は難しくなり、教え方も良くないと分析されることがあります。私は、小学校と中学校の教育内容・教え方の連携が不十分であることに原因があると考えています。つまり、小学校の体験的学習は楽しければいいのではなく、中学における体系的学習に繋がることを意識したヒントを、先生は子ども達に提供する必要があるということです。複雑な自然を理解するには、モデルとしての体系が必要で、中学は体系的学習への移行期に当たります。移行がスムーズに進むためには、小学校の体験的な学習が方向付けされている必要があります。小学校教員養成課程を持つ大学で、理科実験及び実験指導の授業を充実させることにより、先生がこのヒントを与える力を持つことができると思います。自然に好奇心と愛着を感じる伝統を持つ日本人に、本当の理科離れはないと信じています。

* 学生活動紹介 *

ワンダーキッズ（越谷校舎）

文学部 中国語中国文学科3年

部長 嶋村 奈津希

こんにちは！私たち子どもといっしょ Wonder Kids は、今年で44年の歴史を持つ文教大学の文化会に所属している部活です。元は児童文化研究会という名称でした。

現在は約60名の部員が所属し、越谷キャンパスの地域周辺の子どもたちを対象に、日々子どもたちの成長と自身の成長を願いながら、紙芝居や絵本を読み聞かせするおはなし部会、手作りの人形を用いて人形げきの公演を行う人形げき部会、地域の子どもたちと公園で遊んだり、キャンプや遠足等を行う子ども会部会の三部会（グループ）に分かれて活動しています。

また、アットホーム感が私たちの部活の特徴です！みんなが部会を超えてとても仲が良いです。毎年藍蓼祭では、全体発表として三部会が力を一つに『巨大迷路』を作成し、子ども達やご父母の皆さん、学生の方々に楽しんでもらっています。（昨年度は最優秀団体賞、今年はPR大賞を

頂きました！）そして部活のOB・OGの方々の中には、私達が生まれる前にこの部活の現役生だった方もいらっしやいます。そんな方々と藍蓼祭の期間中、年に一度、交流会を開き現役へのアドバイスや心温まるお話等を伺っております。縦と横の繋がりが強い所がこの部活の強みではないかと思っています。

最後にワンダーキッズは外部の皆様からのイベントや公演のご依頼を承ります。人形劇、紙芝居等の公演だけでなく、バルーンアートなどの各種イベント出展や補助も承っています。企画、運営をお任せしていただいても結構です。ぜひ宜しければ一度HPからご連絡下さい。

http://www.geocities.jp/wonder_kids_bunkyo/



ワンダーキッズのみなさん

演劇部（湘南校舎）

情報学部 情報システム学科3年

成瀬 春香

私たち演劇部は、毎週火・金曜日の週2回、活動をしています。部員の多くが大学から始めた人ばかりですが、初心者・経験者の壁もなく、互いに切磋琢磨しながら楽しく過ごしています。

部の活動は、5月の新入生歓迎公演に始まり、10月の聳塔祭公演、3月の卒業公演などがあります。

今年の聳塔祭では、「ミス・ダンライオン」という脚本を借りて、3号館Aスタジオで27日・28日の2日間で計4回の公演を行いました。当日は多くのお客様に会場していただくことができました。また、「感動した」「面白かった」「観に来てよかった」といった多くの声をいただきました。

他にも、夏期休暇、冬期休暇中は茅ヶ崎市海岸青少年会館にて行われている「はまかせシアター」に参加し、絵本の読み聞かせや寸劇を行っています。

また、初めての試みとして、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスの劇団



「ENTROPY」とさんと、12月に合同イベントをすることが決まりました。現在はそのための練習・準備に力を注いでいます。3月の卒業公演に向けての準備も始まり、忙しいながらも楽しく、協力しあいながら、日々の活動に励んでいます。

これまでの活動で実感したのは、演劇は一人ではなく、全員が一つとなって作らなければならないということです。先輩・後輩という壁を越えて、一つのものを一丸となって作っていくことの素晴らしさや、観に来てくれた人に「面白かった」と言ってもらえる喜びは、演劇でしか感じられないものです。そんな、観ていても感動できる芝居を、これからも作っていききたいと思っています。

支部派遣教職員報告

その⑧

茨城県支部総会報告

茨城県支部のおつきあい

情報学部 准教授 松本 浩之



自分が文教大学で世話になって6年が経とうとしています。初任の年にお招きにあ

ずかって以来、茨城県に在住ということもあってか毎年欠かさず総会にお邪魔し、会員の皆様とお話をする機会をいただいています。教育学部の高野三郎先生（今年の3月に退職）と文学部学部長の磯山甚一先生ともずっと一緒にさせていただきました。お近づきになることができました。

湘南校舎で勤務する身にとって茨城県支部総会は、地元に戻ってきたことを実感できる、何かほっと息をつける場になっており、何をおいても参加しなければという気持ちにさせられます。

総会は役員の方々の準備がいつも万端で、毎回滞りなく議事が進行し、私たち教職員が話す時間がしっかり確保されています。役員の方々の陰のご努力に今更ながら頭が下がる思

いです。

参加させていただいて、いつも思うのはご父母の皆様が我が子の今の生活、そしてこれからのことを心配されるお気持ちの強さです。それに比べて自分がそれぞれの学生さんについてお話しできることが限られた情報に過ぎず、申し訳ない気持ちにさせられます。「電話もメールもあり返事をよこさなくて」と心配される親御さんには、抜き打ちの下宿訪問を勧めています。茨城県からならば何とか日帰りが可能ですから、お仕事が休める時に前触れなく下宿先を訪問して普段のくらしぶりを確認した方がよいとお話しています。二十歳を過ぎてもまだまだ親の指導・監督が必要な場面があります。遠慮することはないと思います。

茨城支部は、3・11の震災で例年会場にしてきた霞ヶ浦湖畔の国民宿舎が使用できなくなるといふ事態に見舞われました。しかし役員の皆様のご尽力で中止することなく昨年も今年も総会を実施してきています。皆様の熱意にこれからも応えていきたいと気持ちを新たにしております。

関西地区懇談会報告

関西地区の懇談会に参加して

教育学部 准教授 佐藤 正伸



4月に着任したばかりの新参者です。どうぞよろしく願います。前任校でも「父母教」と同じ趣向の活動があり、この大切

さを痛感していました。学生支援が第一義ですが、保護者の方々のお子様（学生）への深い愛情を感じると、自身の職責を再確認し、ひいては使命感を高揚させます。お声がけいただき、喜んで参加させていただきました。

さて、関西地区の2支部は懇談会のみで開催でしたが、保護者の方々が抱えるさまざまな不安や疑問をうかがえ、良かったと思います。もちろん、小生の職責感や使命感に強い刺激をいただきました。

ただ、その折、皆様揃って、「子どもが『大学が楽しい。文教大学に入學して良かった。』と言う。とても嬉しいが、他方、親が『文教大学』をよく知らない。どんな大学なのか。」というご質問をいただいたことが気になりました。ご欠席の方々も同じ

お気持ちかと思えます。そこで、ご説明させていただいた内容の一つを、ここでご報告させていただきます。

文教大学の特色は大学の風土です。その例は枚挙にいとまがないのですが、一番は「学生同士の仲の良さ」です。もちろん、どの大学にも「馴れ合い的な仲の良さ」はあります。

しかし、文教大学では将来の目標の実現や学生生活の充実に向けた「協働」という「真の仲の良さ」が散見されます。また、その結果、卒業後も付き合い続ける「生涯の友人」を数多く見つけることができます。

このようなことをお伝えさせていただきました。皆様には、少し、ご安心いただけたかと思っています。

最後に、雑感的にお願いを述べさせていただきます。学生支援には、「教職員―学生」「保護者―学生」のタテの関係に加えて、「友人の保護者―学生」のナナメの関係も重要ですが、この構築は容易くありません。「保護者の方々―教職員」はもちろん、「保護者の方々同士」のヨコの関係の深まりが必要です。そこで、より多くの保護者の方々にご参加いただきたい、お待ちしております。

ゼミ紹介

【柳生研究室紹介】

情報学部 情報システム学科

教授 柳生 和男

私の研究室には情報学部のみならず国際学部の教職課程の学生達で溢れます。集まる学生の殆どは教員を目指す学生達で、正直なところ昨年までは、誰がどの学部なのか、学生同士ですら間違える有様でした。

湘南の教職課程の学生の多くは第2志望、第3志望で湘南に辿り着いており、いわば「負け」を経験しています。入学当初から〇〇大にリベンジと明言する学生もいます。

しかし、私は根拠のない自信と型のない型破りの夢と自分探しに明け暮れても、卒業時に「湘南に来て良かった。」という言葉を書くことはできないと考えています。

ここでは、学力を含めた生活全般に渡って、やり残してきたものを客観化させます。そのうえで、解決すべき課題について、克服する術を習得すること厳しく要求しています。

【体験と実践の発信基地】

研究室は私たちが年間を通して取り組んでいる不登校、発達障碍の子どもたちへのサポート活動（訪問や登校支援、居場所づくり）や彼らと寝

食を共に行う富士登山合宿、本物の保護者を集めての模擬保護者会、非

行青少年少女を対象にした更正活動や海外の学校との交流活動や視察、千葉たまごプロジェクトでは自宅が研究室に変わって遠距離の学生をサポート、神奈川県スクールライフサポーターなど学校での現場体験等すべての活動の発信基地となります。

活動はその企画から運営、渉外から予算管理、海外ならば宿舍確保や訪問校への依頼等、学生たちが行うよう指導します。学生たちは子どもの見方、理解、指導、寄り添う態度、加えて理論、哲学や人間性を実験を通して鍛えられます。力のあ



アムステルダム日本人学校で授業

新運営委員事務局協力員紹介

人間科学部 人間科学科

専任講師 青山 鉄兵



今年度より、父母と教職員の会の越谷事務局協力員となりました。人間科学部の青山鉄兵と申します。今年の4月に文教大学に来たばかりですので、まだまだ分からない事も多く、ご迷惑をかけることもあるかもしれません。どうぞよろしくお願い致します。

私の専門は、子どもや若者の学校教育ですが、その背景には「教育や学習は子ども／学校だけのものではない」という生涯学習の発想があります。父母教の活動は、保護者の皆様にとっても、教職員にとっても、大切な生涯学習の場となるものですし、大学の中にこのような父母と教職員の学びを支えるシステムがあることは、大変貴重なことだと思います。父母教を通じた様々な活動が、皆さんにとって少しでも有意義なものとなるよう、私も微力ながら頑張ってお手伝いをさせていただきたいと思っています。



越谷校舎 教育支援課

課長 菅沼 隆昭

前任から引き継ぎ、



越谷校舎教育支援課長を務めることとなりました菅沼隆昭（すがぬまたかあき）と申します。同時に「父母と教職員の会」運営委員に就任しました。「父母と教職員の会」会員の皆様には、多方面から学生へのご支援をいただくとともに、日頃から本学へのご理解とご協力をいただき本学にありがたく思っています。私も微力ながら「父母と教職員の会」の活動のお役に立てればと考えております。

私が所属している教育支援課は、授業支援や成績管理、教育実習・介護等体験の実施、学籍管理、奨学金業務、課外活動支援、国際交流業務、各種証明書発行等々を担当し、在学生・卒業生を直接・間接に支援しています。また、平成24年10月より、大橋学長を中心に検討の結果、「学生支援室」が課内に新設され、多様化する学生に関わる課題解決に取り組んでいます。日常の学生対応においては、時には厳しく接せざるを得ない場面もありますが、学生の皆さんにより良い学生生活を送ってもらえるよう、課員と共に頑張っています。よろしく願います。

「文教大学学園校友会」が発足 学園経営企画局校友会室

去る12月1日、赤坂オフィスで大学・付属校の各同窓会及び「文教大学父母と教職員の会」各代表や関係理事等の出席の下、「文教大学学園校友会」設立が審議・承認され、ここに同校友会が正式に発足致しました。

この「学園校友会」は、学園やこれら同窓会、「父母と教職員の会」相互の連携強化によって、学園の一層の発展を図ることを目的として設立されたものです。「文教大学父母と教職員の会」会員の皆様方におかれましても、こうした活動にご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



文教大学学園校友会

文教サービス便り

越谷校舎学生食堂では秋学期より 「毎日健膳」A定食メニューが出来ました!!

毎日健膳とは、健康的な食生活・生活習慣病の予防をサポートするメニューで、管理栄養士が作成しています。栄養価基準値を基に低カロリーで健康志向な定食を1か月毎日違うメニューで ご提供いたします。日々、健康に気を遣っている方も、これから気を付けようと思っていた方も是非ご利用ください!!

A定食
410円

栄養価基準値 (1セットあたり)

- ・エネルギー 650kcal以下
- ・コレステロール 100mg以下
- ・PFC比 炭水化物60%
タンパク質15-20%
脂質20-25%
- ・食物繊維量 8g以上
- ・野菜 120g以上
- ・塩分 4.0g以下

MEFOS Meal service for health and delights

兄弟(重複)会員について

皆様の中で、お子様が兄弟・姉妹で父母と教職員の会に加入している方はおられませんでしょうか? その場合、父母教では重複会員とし、上のお子様のご卒業なさるまでは下のお子様の会費は頂かないことになっております。該当する方は、越谷事務局までご連絡ください。

編集後記

今回の表紙は、茅ヶ崎市中海岸にある海水浴場「サザンビーチがさき」です。1999年に地元茅ヶ崎市出身の桑田佳祐が率いるサザンオールスターズの名にあやかり、改名しました。サザンビーチモニュメント「茅ヶ崎サザンC」の円のそばに立つ「円」が結ばれるため「縁結びの輪」とされています。小さいですが、Cの中ほどに烏帽子岩、左端に江の島が写っています。

山手にある湘南キャンパスから約10キロメートルの湘南海岸に、是非お立ち寄りください。

【お詫言と訂正】 前号105号の会報の記事で次の点を修正させていただきます。
「代議員会」報告 4ページ一段目【催事計画】①番 代議員会の開催日が「11月中旬」となっておりますが、「6月第一土曜日」の間違いです。ここに誌面をおかりして訂正させていただきます。